

私は現在の枚方市と交野市が交野ヶ原と呼ばれ、中国から伝えられた七夕伝説が大輪の花を咲かせていた平安時代、そして江戸時代に発達した伝統的七夕伝説を守り伝承することで街づくりに貢献したいと考えています。

近年、日本でも中国でも伝統的な笹飾りとは全く違った形の七夕文化が特に都会地の若者によって生まれていることに危惧を抱いています。

具体的には大阪で3年前に突然笹飾りや短冊とは縁の無い千円もする照明弾のようなものを大川に流して回収し、リサイクルしているのは天神様も呆れていることでしょう。伝統も重んじる京都で大阪に1年遅れて「七夕まつり」を復活させたようですが機織や農耕、文字（書道や和歌を作る）の文化からはほど遠い夜店中心、経済中心で、心の文化が忘れられているようです。関東では「冬の七夕」などと名前だけのパクリ現象が起きています。丁度5年前に中国の若者が「七夕バレンタインデー」なる名称で七夕まつりを復活させた時に中国で議論した学者先生が神聖な聖人を祀る行事を抜きにした西洋かぶれもしい加減にせよと嘆いておられたのと同じ現象です。

<http://www.eonet.ne.jp/~kirakuna/travel-Edward/tanabata/tanabata.htm>

「天の川七夕星まつりの会」は今年23年目を迎えました。七夕まつりに相応しい技芸展を開催中です。会員の七夕工房さんがブログにアップしてくれました是非会場にもお立ち寄りください。<http://blogs.yahoo.co.jp/toruchan21/62563036.html#62563036>

全国天文学会では「全国同時七夕講演会」が開催しています。

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/tanabata/>

洞爺湖サミットに参加した各国のリーダーが日本の七夕文化に賛同して短冊に願いを書いて笹飾りした事を知って大拍手を送ったものです。その時、世界のリーダーたちも真面目に平和を考え、人類の平安を願っていたことに七夕文化の意義を見出したことでした。因みに各国のリーダーが書いた願い事はマスコミの報道によると以下のようなものでした



サルコジ仏大統領「北海道洞爺湖サミットが環境保護、開発、経済成長、そして平和の保持といった世界的課題に対する対応方法を見いだすことに貢献することを願います。ま

た、仏日関係150周年を迎える本年が、2国間における友好と交流への絆を促進する機会となることを願います」

**メドベージェフ露大統領**「織り姫と彦星の間に天の川が流れていても、彼らはお互いを思う不屈の力によって宇宙の中でつながっています。これは地球の人々にとって示唆に富んでいます。われわれも共通の故郷、平和、繁栄、そして母なる大地の未来に対する責任でつながっており、これらを守ることはわれわれの責務です。私は北海道洞爺湖サミットがこの高貴な目標達成に貢献すると確信しています」

**メルケル独首相**「われわれの会議の上に良い星が輝きますように。すべての話し合いには親善の気持ちがありますように。われわれすべての心に責任感がありますように。そしてわれわれすべてが人々の希望を胸に受け止められますように」

**ハーパー加首相**「世界の自由、民主主義、人権、そして法の支配に基づく世界を！」

**ブラウン英首相**「貧困の終焉（しゅうえん）。そして、2005年7月7日のロンドンにおける爆発事件3周年に、テロリズムの終焉」

**ベルルスコーニ伊首相**「世界中の子供たちにとって、希望、平静と豊かさのある未来となりますように」

**バローゾ欧州委員会委員長**「人々が、この世界全体を2つとない同じ家族であると思える日が来ますように」

**ブッシュ米大統領**「圧政から自由な世界を望みます。飢餓、病気による圧政、あらゆる圧政からの自由。自由への普遍的な望みが実現される世界を願います。また、人間の暮らしを良くし、私たちの環境を守る新技術の進展を望みます。すべての人に神のご加護を」

**福田康夫首相**は「温故創新 人類の英知に学び未来を拓く」と書き込んだ。七夕文化が持っている力が世界のリーダー達に平和と子供達の将来を真剣に考えさせたのは事実です。しかし、その後に行われているサミットに願を書くと云う笹飾り文化が伝承されていないのは誠に残念なことです。

私は今、七夕文化の力を借りて「仙台七夕まつり」が被災地の復興に役立つことを信じて、市民の力で「七夕の絆」を贈り続けています。それはまずは復興へのメッセージを寄せ書きにして贈ることでした。次に仙台七夕まつり復興の為の募金をすることでした。既に日赤、職場、町内会を通じての呼びかけで募金疲れをしていたときでしたが我々の募金は使用目的と送り先が明確で、仙台七夕まつり実行委員会からも素早い反応「今年も被災に負けず七夕まつりを実行する決定をした」と言うニュースでした。それは七夕まつりが街を元気にすると言う信念に基づいたものでした。

私達はメッセージ、募金に続けて、8月6日の旧暦に実行する七夕まつり応援団を組織してバスツアーする計画を立てています。

その第一は「相手に負担をかける事はしない。全て自己責任でやる」をモットーに「七夕の絆」を深めることを考えて企画中です。幸い私達は新暦で七夕を済ませますので現地へ行くまでに1ヶ月の期間があります。又、我々の会員で既に被災地を訪問して癒しのボランティアをしたメンバーがいるということです。これを是非成功させたいと思います。ご支援ご協力をお願いします。お問合せは [HQP00473@nifty.com](mailto:HQP00473@nifty.com)（鳥居貞義☆天の川☆）へ。